



しまね文化ファンド  
助成事業  
島根県民文化祭共催事業

The 7th Shimane Prefectural High School Cultural Festival

# 第7回 島根県高等学校 文化フェスティバル

# 展

広げよう文化の輪

2012 **7/21** 田石中央文化ホール

主催：島根県高等学校文化連盟 後援：島根県教育委員会 問い合わせ先：島根県高等学校文化連盟事務局 TEL0855-28-7621

ポスターデザイン  
島根県立浜田高等学校2年  
半場瑞生

本日はお忙しい中を島根県高等学校文化フェスティバルにご参加くださりまして、ありがとうございます。この文化フェスティバルは、島根県で文化活動を行っている高校生が一堂に会し、その成果を披露するとともに、本年八月に富山県にて開催されます全国高等学校総合文化祭に参加する生徒諸君の激励の機会でもあります。

本年は、「展（てん）」というテーマのもとに、多くの高校生に発表や展示部門において参加をしていただきました。特に、浜田養護学校の生徒の皆さんに郷土芸能部門に初めて参加していただきます。本日のフェスティバルを通じ、生徒間のつながりや高校生の文化活動がより一層発展していくことを願っております。

高等学校や高等部における文化活動は、教育活動の一環として位置づけられ、知性を高め、感性を育てる、そして見る人、聞く人に感動を与えるもので、人間の成長には欠かせないものであります。本日参加された皆さんに各校の日頃の活動成果を十分ご覧いただき、皆さんと感動を分かち合えることを願っております。

さて、現在島根県は「神々の国しまね」プロジェクトを推進中で、その一環として開催される「神話博」が本日開幕を迎えます。島根の文化や伝統を発信する取組が始まろうとしております。ここ浜田市からは島根の高校生が島根についてそして文化活動の成果を発信してくれることを期待しております。

最後に、ご後援をいただきました島根県教育委員会そして開催にあたりご支援、ご協力をいただきましたすべての皆様に感謝を申し上げ、また全国高等学校総合文化祭に参加される生徒諸君の活躍を祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

島根県高等学校文化連盟会長 倉本 一三  
(島根県立浜田高等学校長)



第7回島根県高等学校文化フェスティバルの開催に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

まず、平素より、高校生の文化部活動に対しまして、ご理解、支援をいただいております皆様に、厚くお礼申し上げます。

さて、島根県では、昨年11月に文化芸術振興条例が施行され、「心豊かで潤いがあり、活力に満ちあふれた魅力的な地域社会の実現」を目指し、文化芸術活動についても、これまで以上に積極的に取り組んでいこうという気運が高まっております。

また、本年は古事記編纂後1300年の節目の年として、「神話博しまね」が本日から3ヶ月にわたり開催されます。8月18日には、高校生が、「神々の国しまねへようこそ！ 高校生の文化発信ステージ」で、県内外の観光客の皆様には神楽や演劇を上演し、「神々の国しまね」の魅力をPRします。

私は、文化部活動は、一人一人の知性や感性を磨き、豊かな心を育むとともに自主性や自立心を養うすばらしい取組であると考えております。

この島根県高等学校文化フェスティバルは、日頃の練習の成果を広く発表できる貴重な機会であり、県民の皆様には、こうした、生徒たちの頑張る姿に共感していただきたい。そして、発表を通して生徒たちに自信をつけてもらいたいと思います。

なお、本日のステージに立つ生徒の多くは、8月に富山県で行われる全国高等学校総合文化祭に参加いたします。本県を代表して出場する皆さん、一人一人が、ふるさと島根の魅力を発信する役割を担っていることに誇りを持ち、全国の舞台上で活躍していただきたいと願っております。

最後に、これからの本県高校生の文化部活動が、地域の皆様との連携のもと、ますます発展していくことを祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

島根県教育委員会教育長 今井 康雄

昨年度に続き、今年もまた島根県高等学校文化フェスティバルがこの浜田の地で開催されることを、とても喜ばしく思います。

本日のこのフェスティバルには、島根県の高校生の“文化の粋”が集まっています。どの作品も、私と同年代の生徒のみなさんが作ったとは思えない表現力があり、高校生らしい溢れるエネルギーが伝わってくるものばかりです。今、この島根県の高校生が、どう感じ、何を思い、いかに表現しているか、作品達に込められたエネルギーと共に感じてもらいたいと思います。また、作品を作りあげるにあたって、作り手のみなさんが様々な困難に直面し、悩み、その答えを導き出すというドラマを経験されたのだろうと推察します。今日ここにある全ての作品と作り手のみなさんにとって最高の1日になってほしいと思いますし、来場したみなさんにも笑顔が溢れるような最高の1日になって欲しいと願っています。

本日はご来場ありがとうございました。島根県の高校生の“文化の粋”を是非、心ゆくまでお楽しみ下さい。

第7回島根県高等学校文化フェスティバル生徒実行委員長  
島根県立浜田高等学校 2年 都 公哉

# 舞台部門

The 7th Shimane Prefectural High School Cultural Festival

## 大ホール

### 第1部

- 10:00~ 開演  
放送CM(三刀屋高校:1分)  
日本音楽(松江南高校:10分)  
開会式
- 10:26~ 弁論(松江市立女子高校:8分)
- 10:36~ 放送(浜田水産高校:10分)
- 10:47~ マーチング(立正大学淞南高校:10分)
- 10:57~ 休憩(13分)
- 11:10~ 演劇CM
- 11:13~ 社会科学(矢上高校:20分)
- 11:34~ 吹奏楽(16分)
- 11:50~ 第1部終了

### 第2部

- 13:20~ 大ホール開場
- 13:39~ 開演  
放送CM(大社高校:1分)
- 13:42~ 演劇(三刀屋高校:60分)
- 14:42~ 休憩(13分)
- 14:55~ 郷土芸能(浜田養護学校:20分)
- 15:15~ 放送作品(飯南高校:8分)
- 15:25~ 郷土芸能(浜田商業高校:15分)
- 15:40~ 閉会式・フィナーレ(全員合唱:栄光の架橋)
- 15:50~ 終演

### 第1部

#### 放送部門

島根県立三刀屋高等学校

CM 「神々の国 しまね」

#### 日本音楽部門

島根県立松江南高等学校

曲目:「石筍」

作曲:沢井 忠夫

#### 弁論部門

松江市立女子高等学校 2年 山崎佳那子

演題「父との壁」

#### 放送部門

島根県立浜田水産高等学校

テレビドキュメント 「語られざる戦い」

第2部

マーチング部門

立正大学淞南高等学校

曲目：「出雲 ～神在月～」 作曲：藤掛 廣幸 編曲：藤下 宗一郎、夏井 洋平

社会科学部門

島根県立矢上高等学校

研究発表「益田市鶴ノ鼻43号墳の測量調査」

吹奏楽部門

島根県立江津高等学校

指揮：田中 久士

曲目：ケルト民謡による組曲 第2番～オキヤロランの花束～より

作曲 T. オキヤロラン 編曲：建部 知弘

- I ロフトス・ジョーンズ
- IV ジェイムズ・ブランケット
- V キャロランズ・コンチェルト

曲目：音詩「石見相聞歌」小編成吹奏楽による

作曲：山本 英史

放送部門

島根県立大社高等学校

CM 「T. CM」

演劇部門

島根県立三刀屋高等学校

作品名「ヤマタノオロチ外伝」

作：亀尾 佳宏(顧問)

郷土芸能部門

島根県立浜田養護学校

石見神楽「大蛇(おろち)」

放送部門

島根県立飯南高等学校

ビデオメッセージ「飯南の雪を全国へ」

郷土芸能部門

島根県立浜田商業高等学校

石見神楽「岩戸(いわと)」

フィナーレ

全員合唱 ～みなさん、一緒に『栄光の架橋』を歌いましょう!～

## 展示部門

The 7th Shimane Prefectural High School Cultural Festival

展示ホール、大ホールロビー(9:30~16:00)

## 美術・工芸部門

## テーマ「神々の国しまね高校生美術コンクール作品展」

本日より古代出雲歴史博物館において「神話博しまね」が開催されます。

美術・工芸専門では、メイン会場の「神話博しまね」で展示されます「神々の国しまね高校生美術コンクール作品展」の選抜作品18点をここ浜田でも展示します。作品は版画、デザイン、油絵など、島根の神々を高校生が自由な発想で描いたものばかりです。

大変楽しめる内容となっておりますので、作品をとおして「神話博しまね」にご関心いただきますようよろしくお願いいたします。

## 写真部門

## テーマ「優秀作品の展示」

県西部の作品を中心に昨年の島根県高校写真展の作品を展示しています。高校生の瑞々しい感性あふれる作品を楽しんで下さい。

## 新聞部門

## テーマ「高文連新聞作成コンクール」

県内の新聞部のある学校が集まり、年2回新聞作成コンクールを行っています。これは部員の技術向上と部員相互の交流を目的としたものです。学校の枠をこえて班編制し、取材・編集作業を通して作り上げた手書きの交流新聞を是非ご覧下さい。

## 自然科学部門

## テーマ「プラナリアの集合性」

今年度は、口頭発表の部で全国大会に参加することになりました。プラナリアに集合性があることが分かり、現在はその集合性にはプラナリアが出している化学物質が関係しているのではないかと仮定し、その物質を突き止めようと研究しています。

## テーマ「カタバミの就眠運動」

どこにでも生息しているカタバミですが、夜には葉を閉じる就眠運動という性質を持っています。葉を閉じるもしくは開かせるには、物質が関与しているだろうとの仮説を立て、インドール酢酸やジベレリンといった植物ホルモンを使って研究をしています。全国大会では、展示発表の部に参加しますがしっかり説明してきたいと思います。

## 社会科学部門

## テーマ「益田市鵜ノ鼻43号墳の測量調査」

発表と同じテーマである鵜ノ鼻43号墳の測量調査の成果をまとめたものを展示します。

## 生活科学部門

## テーマ「安来の文化“藍染め”」

安来市広瀬町には、江戸時代から伝わる広瀬紺があります。その伝統の一部である藍染めを体験し、私たち高校生の感性で新しく表現しようと作品を製作しました。是非、ご覧下さい。

書道部門

テーマ「優秀作品の展示」

今年1月末に開催された「書き初め展」の優秀作品を展示します。

文芸部門

テーマ「優秀作品の展示」

昨年度の県文芸コンクールの優秀作品を展示します。高校生にしか書けない物語、高校生にしか想像できない世界を、読者のみなさんにも味わって鑑賞してもらえればと思います。

特別支援学校ブース

～島根県立浜田養護学校のみなさんの美術作品&作業製品展示～

浜田養護学校高等部は52名の生徒が在籍しています。今回は美術科で制作した作品と作業学習で制作した製品を展示します。1年生は必修美術、2・3年生は選択美術で絵画・デザイン等に取り組んでいます。技術的には未熟なところもありますが、感性豊かな作品ができあがりました。作業学習では、水産加工・木工・窯業・手芸・園芸・調理・神楽面の7つの作業班に分かれ、職業的・社会的自立に向け、基本的な知識・技能・態度を学んでいます。学習を通してできあがった製品は、「はまようまつり」や「たまも市」などの学校行事において、地域の方々にも販売し、好評を得ています。

～浜田ろう学校 高等部生徒の作品～

浜田ろう学校の高等部の生徒数は2名です。被服科専攻の2年生が1名、美術工芸科専攻の3年生が1名です。生徒が「美術」「被服」「作業学習(さわり)」の授業で取り組んだ作品を展示します。自分らしさの表現とともに、技術力も高めていきたいと努力した結果です。ぜひ味わってご覧ください。

いわみ囲碁まつり (大ホールロビー 10:00~15:00)

10:00~12:00 囲碁ちびっこ教室

12:00~13:30 女流棋士に挑戦!

14:00~15:00 指導碁

〈ゲスト〉

桑本 晋平 日本棋院 棋士六段

巻幡多栄子 日本棋院 棋士三段

〈代表生徒〉

石津佑一郎 アマ5段

島根県立浜田高等学校1年生

全国高等学校総合文化祭富山大会囲碁部門島根県代表選手

〈協力〉

日本棋院浜田支部、日本棋院江津支部、日本棋院益田支部

浜田市子ども囲碁連盟のみなさん



**The 7th  
Shimane Prefectural  
High School  
Cultural Festival**